

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/13 （3/6との比較） 今後の見通し （※4）	3/13 （3/6との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	0.85% （+0.12）	78.17円 （▲0.45%）	+1.5% 2019年4Q	0.75%	発表された住宅着工件数は市場予想を上回る内容。中銀は13日に0.50%の緊急追加利下げを実施。新型コロナウイルス感染拡大への懸念が一段と強まり、原油価格の下落も嫌気され、カナダドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高などが発表予定。新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動停滞への懸念が強まる中、主要国の政策対応が進むとみられ、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ブラジル 	BB-	5.90% （+0.80）	22.23円 （▲2.31%）	+1.7% 2019年4Q	4.25%	発表された鉱工業生産は市場予想を上回る内容。減産合意が不成立となったことによる原油価格の急落や、新型コロナウイルスによる経済悪化への懸念が一段と強まり、リアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	インフレ率や産業信頼感が発表予定。2020年のGDP（国内総生産）の伸び率が鈍化し、今週の金融政策決定会合で中銀が利下げするとの見方が強まる中、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Ba2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.32% （+1.12）	4.92円 （▲6.10%）	-0.5% 2019年4Q	7.00%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回る内容。原油価格の下落や新型コロナウイルスの世界経済への影響拡大に対する懸念が一段と強まる中、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	特に注目すべき経済指標の発表はなし。中銀が通貨ヘッジオプションを実施して通貨回避姿勢を示している模様だが、その効果は未知数とみられる中、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	A3	 金利低下		 景気安定	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/13 （3/6との比較）	3/13 （3/6との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	<b>0.98%</b> （+0.30）	<b>66.68円</b> （▲4.58%）	<b>+2.2%</b> 2019年4Q	<b>0.50%</b>	発表された企業景況感および消費者信頼感指数は前回比で悪化する内容。中銀が公開市場操作で市場予想の34億豪ドルを大きく上回る、88億豪ドルの資金を供給。国債利回りは上昇。豪ドルは対円で下落。	住宅価格指数や景気先行指数などが発表予定。新型肺炎の感染拡大をめぐる動向や、中銀が国債の買入れを示唆していることから今週発表される追加政策に注目が集まる中、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	<b>1.20%</b> （+0.26）	<b>65.19円</b> （▲2.66%）	<b>+2.3%</b> 2019年3Q	<b>1.00%</b>	発表された製造業PMI（購買担当者景気指数）は前回比で改善を示す内容。新型肺炎感染拡大への懸念が一段と強まり、原油価格の下落も嫌気され、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	経常収支やGDPなどが発表予定。中銀は週初に緊急利下げを実施しており、主要国の政策対応も進むとみられる中、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	<b>1.00%</b> （+0.06）	<b>10.66円</b> （▲6.03%）	<b>+1.8%</b> 2019年4Q	<b>1.00%</b>	発表されたCPIは市場予想を下回る内容。中銀は13日に0.50%の緊急利下げを発表。新型肺炎感染拡大が一段と懸念され、原油価格の下落も嫌気される中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支などが発表予定。今後の金融政策動向に加え、新型肺炎と産油国の原油減産に対する動きなど原油価格の先行きからも目が離せない状況が続く中、債券・為替市場ともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/13 （3/6との比較）	3/13 （3/6との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	6.54% （+0.31）	6.66円 （▲1.02%）	-0.5% 2019年4Q	6.25%	発表された企業信頼感市場予想を下回る一方で、鉱物生産量は市場予想を上回る内容。新型コロナウイルス感染拡大への懸念が一段と強まり、原油価格の下落も嫌気される中、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	消費者信頼感やCPIなどが発表予定で、中銀の利下げを予想。新型コロナウイルスに対して主要国の政策対応が進むが、財政の先行きの不透明感による格下げ懸念も拭えない状況が続く中、ランドは相対的に軟調な展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB	6.74% （+0.74）	0.73円 （▲1.26%）	+5.0% 2019年4Q	4.75%	発表された消費者信頼感指数は前月比で悪化する内容。新型コロナウイルス感染拡大への懸念が一段と強まり、原油価格の下落も嫌気され、インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支などが発表予定。新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる動向が注目され、今週の金融政策決定会合で中銀が利下げするとの見方が強まる中、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.30% （+0.30）	1.44円 （+0.48%）	+4.7% 2019年4Q	5.15%	発表されたCPIは市場予想を下回る伸びとなり、鉱工業生産は市場予想を上回る内容。インフレに一服感が出てきたことを好材料とみる動きもある中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは上昇。	PPI（卸売物価指数）などが発表予定。新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動停滞への懸念が高まる中、主要国の政策対応が進むことなどから、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

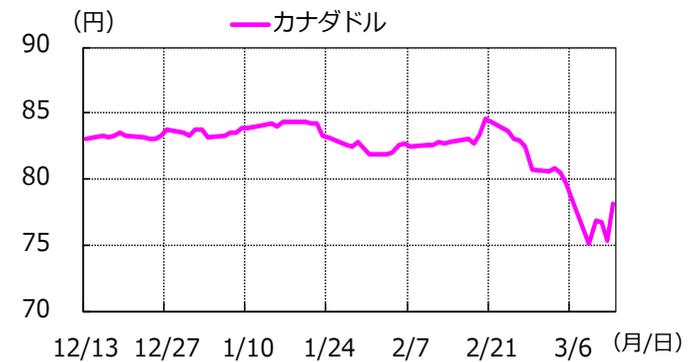
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

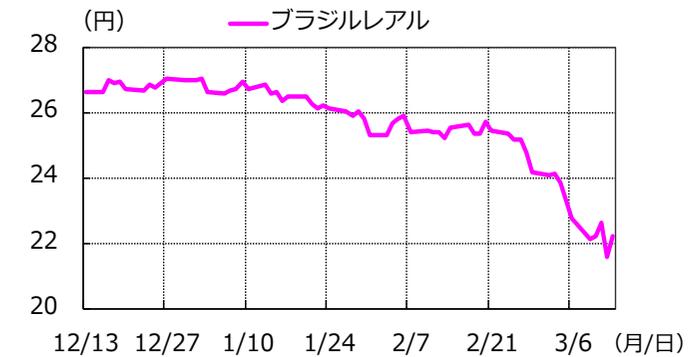
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/12/13~2020/3/13

カナダ



ブラジル



メキシコ



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

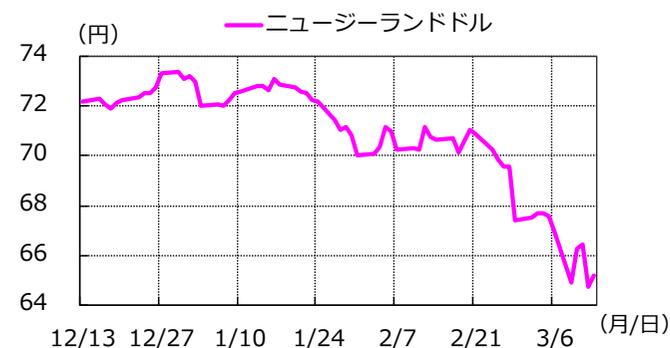
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/12/13~2020/3/13

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

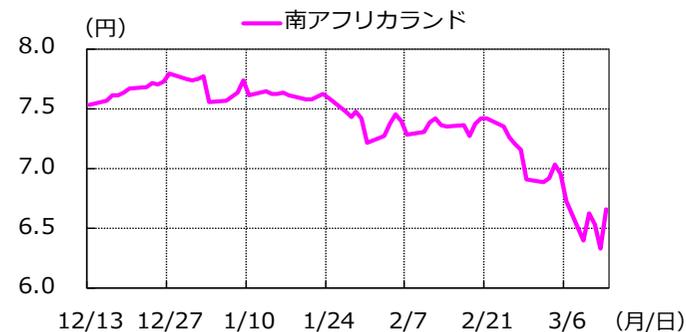


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

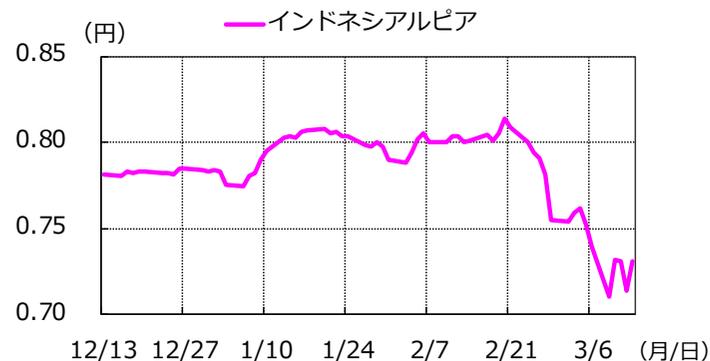
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/12/13~2020/3/13

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。